

## 第206回教育研究評議会<議事要録>

日時 令和4年7月11日(月) 14:00~15:12  
場所 <Web会議により実施(Microsoft Teamsを使用)>  
本部棟3階 特別会議室  
出席者 服部学長, 藤田理事, 肥後理事, 大谷理事, 椎名理事, 藤波理事, 金山副学長,  
松崎副学長, 増永副学長, 丸橋法文学部長, 河添教育学部長,  
磯村人間科学部長, 鬼形医学部長, 伊藤総合理工学部長, 川向生物資源科学部長,  
片岡評議員, 加藤評議員, 高橋評議員, 石原評議員, 山田評議員, 松本評議員,  
河野評議員, 境評議員, 津本評議員, 半田評議員  
オブザーバー 千家監事  
〔陪席: 企画部長, 研究・地方創生部長, 教育・学生支援部長, 総務部長,  
財務部長, 松江地区学部等事務部長, 医学部事務部長, 研究推進課長,  
教育企画課長, 学生支援課長, 総務課長, 監査室長〕

### 議題1 特別副専攻プログラムに関する規則及び大学院における特別副専攻プログラムに関する規則の一部改正について

- 肥後理事から特別副専攻プログラムに関する規則及び大学院における特別副専攻プログラムに関する規則の一部改正について説明があった。
- 半田評議員から, 新たに設けられる教育改善小委員会の委員はどのように決まるのかとの質問があり, 肥後理事から, 教育推進会議委員であった教員が教育改善小委員会の委員を引き継ぐ形になるとの回答があった。
- 審議の結果, 原案どおり議決された。

### 議題2 教学マネジメント委員会規程の一部改正及び教学マネジメント委員会教職課程小委員会要項(案)について

- 肥後理事から教学マネジメント委員会規程の一部改正及び教学マネジメント委員会教職課程小委員会要項(案)について説明があった。
- 服部学長から, 教職課程の今後については全学的な検討が必要であるため, 教学マネジメント委員会で全学的な新しいマネジメントを行い, 活発な議論を展開してほしいとの意見があった。
- 肥後理事から, 7月1日開催の教学マネジメント委員会において, 全学の教職課程について従来は主に教師教育研究センターが機能してきたが, 教師教育研究センターは教育学部附属のセンターであるため, 教師教育研究センターと教学マネジメント委員会それぞれで責任者が異なることから, ガバナンスに齟齬が生じるのではないかととの意見があったため, ガバナンスに係る課題も踏まえながら進めていきたいとの発言があった。
- 審議の結果, 原案どおり議決された。

### 議題3 令和4年度後期授業の実施基準(案)について

- 肥後理事から令和4年度後期授業の実施基準(案)について説明があった。
- 片岡評議員から, 授業の実習及びフィールドワークなど学外活動の実施の可否の基準を行動指針に掲載してほしいこと, また, 現在の実施基準について質問があった。肥後理事から, 教育に係る学外活動については個別に新型コロナウイルス感染症対策本部会議で判断しているため, 一概に行動指針に基準を示すのは難しい面があるとの回答があった。
- 片岡評議員から, 学外活動の実施の可否については, 行動指針の段階に関係なく, 毎回新型コロナウイルス感染症対策本部会議で個別に判断を下すという理解で良いかととの質問があり, 肥後理事から, 行動指針が段階1の場合, 学内では対面授業を行っており, 学外活動についても訪問先での受け入れに問題がなければ通常の教育活動を行っていることを

踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策本部会議で個別に判断するのは主に段階2、段階3の時であるとの回答があった。

- 服部学長から、現状は行動指針の段階1であり個別に判断する必要はないと思うが、感染者が増えているため、学外活動を実施する場合はその時々々の状況を踏まえて判断することになることから、迷った際には個別に相談いただくのが良いのではないかと意見があった。
- 藤田理事から、新型コロナウイルス感染症の拡大が続いているという現状を受け、学外の活動も含め、夏休みに入る前に再度対応について整理した後、考えを示したいとの発言があった。
- 丸橋評議員から、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる留意事項の中で、学外活動を行う場合の感染防止対策が出されており、それらを踏まえて各部局において学外活動の実施の可否を判断することができるが、今後の新型コロナウイルス感染症への対応について夏休み前に改めて検討することがあれば、主導していただきたいとの意見があった。
- 審議の結果、原案どおり議決された。

#### 報告事項1 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について

- 肥後理事から第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について報告があった。

#### 報告事項2 島根大学における令和4年度の省エネルギーの取組みについて

- 藤波理事から島根大学における令和4年度の省エネルギーの取組みについて報告があった。
- 松崎副学長から、エアコンを使用する際に、冷房機能ではなく除湿機能を使用することでより節電に繋がるとの説明があったが、除湿機能による電力使用量はエアコンの種類によって異なるのかとの質問があり、藤波理事から、学内のほとんどの機器は除湿機能を使用する方が節電に繋がるため、電力使用量の削減に向けて除湿機能を積極的に使用してほしいとの回答があった。

#### 報告事項3 山陰ケーブルビジョン株式会社及び国立大学法人島根大学の連携協力に関する協定書の締結について

- 藤田理事から山陰ケーブルビジョン株式会社及び国立大学法人島根大学の連携協力に関する協定書の締結について報告があった。

#### 報告事項4 令和3年度 島根大学支援基金の受入状況について

- 藤田理事から令和3年度 島根大学支援基金の受入状況について報告があった。
- 肥後理事から、経済的な理由により大学院への進学を躊躇している学生に対し、大学院進学を促進するような奨学金制度の新設を学生支援委員会で検討しているため、新たな奨学金制度の設計について案があれば、8月10日を目途に学生支援委員会へ提出してほしいとの依頼があった。

#### 報告事項5 コンプライアンス・プログラム（eラーニング）の実施状況について（R4.6.30現在）

- 藤田理事から令和4年6月30日現在のコンプライアンス・プログラム（eラーニング）の実施状況について報告があった。

#### 報告事項6 教員の採用等について

- 報告事項6は書面をもって報告に代えた。

## 報告事項7 メンタルヘルスに課題をもつ学生への理解・支援について

- 肥後理事からメンタルヘルスに課題をもつ学生への理解・支援について概要を説明した後、河野評議員と境評議員から詳細について報告があった。
- 山田評議員から、学生が保健管理センターでカウンセリングを受けている場合、保健管理センターから学生の指導教員に対して情報提供をすることは可能であるか質問があり、河野評議員から、自発的にカウンセリングを受ける学生に対し、最初に自傷他害の恐れがある場合を除き守秘義務を守る旨を伝えており、本人の了解を得ることができなければカウンセリング内容を指導教員へ伝えることは難しいとの回答があった。
- 半田評議員から、平成26年度から精神障がいのある学生が増加傾向にあるが、理由があるのかとの質問があり、肥後理事から、メンタルヘルスに課題のある学生の背景要因は、心理的ストレス等様々な理由が考えられるため、一概には言うことができないとの回答があった。
- 服部学長から、コロナ禍の影響によって生じた精神障がい学生に加え、コロナ禍以前からメンタルヘルスに課題を持つ学生も多く存在しており、学生が精神的に負担を感じる状況はそれぞれ異なるが、双方とも無関係ではないと考えられるため、それぞれ専門家の方で分析を進めながら学生への支援について検討していただき、共有してほしいとの意見があった。

### その他

- 河添評議員から、第205回教育研究評議会で議決した議題2の第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の申請について、6月30日に文部科学省へ申請予定であったが、その後の状況について質問があり、肥後理事から、予定通り申請を行い、今年度末のところで結果が出るとの回答があった。